



姫路市・都市経営の転換点

縦割り行政から「課題解決型」の未来へ

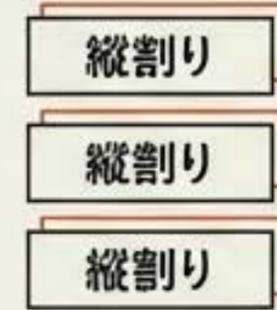
令和8年度 代表質問・施策方針に基づく提言
改革無所属の会

人口減少時代、行政は「管理」から「経営」へ。



直面する現実 (The Reality)

- 人口減少・出生数の急減
- 物価高騰による市民生活への圧迫
- 「時代の転換点」を迎えている



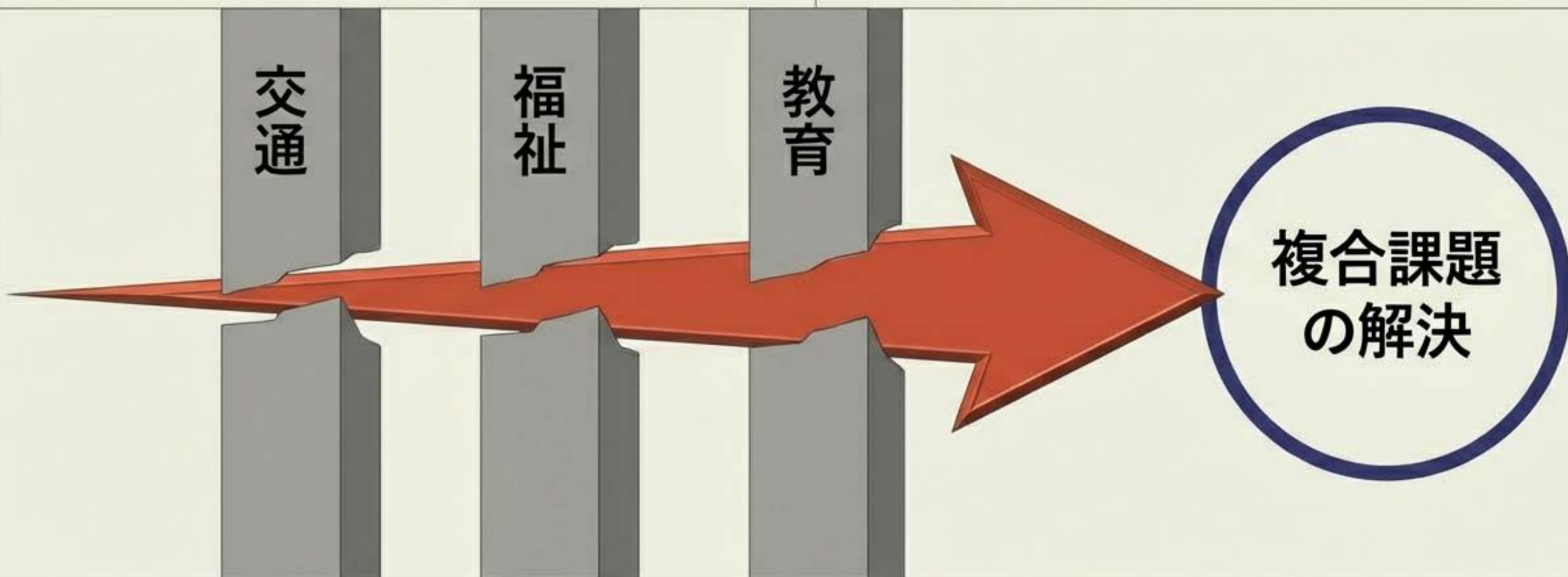
構造的な課題 (Structural Issues)

- 縦割り行政の弊害 (部分最適)
- 待っているだけの「許認可型行政」の限界



必要なのは、事業の羅列ではなく
投資の判断基準である。

Strategy 01: 組織の壁を超える。「縦割り」から「課題解決型」へ。



事業を拡大する時代から、限られた資源で課題を解決する時代へ。
部署の論理ではなく、市民の課題を起点に組織・予算・評価を再構築する。

Strategy 02: 市民参画の再定義。「意見を聞く」から「共に決める」へ。

市民参画型予算制度



市民が事業を提案し、市民の投票で決定する。
(例: 福井県坂井市モデル)

公式LINEのDX化



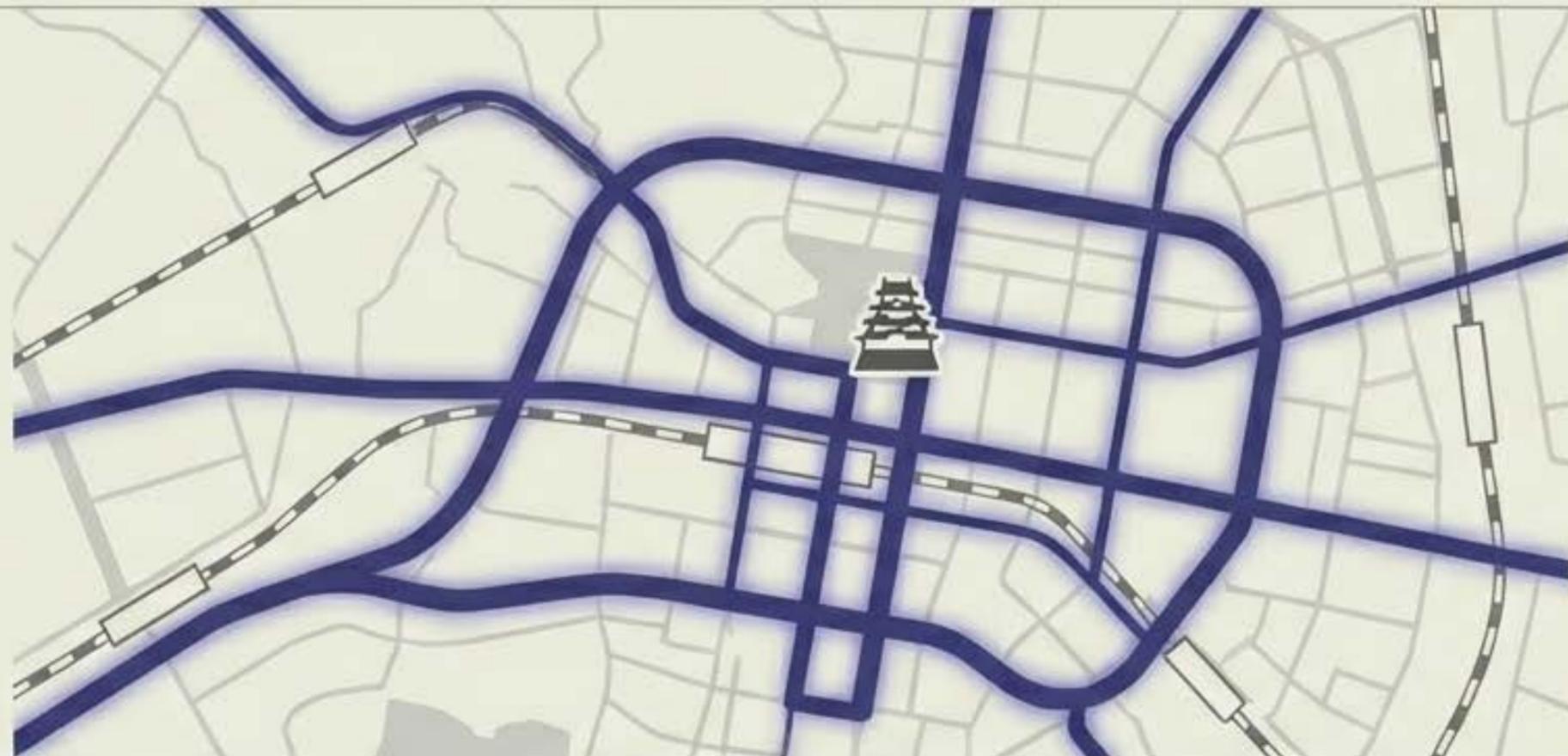
「情報掲示板」から「政策提案ツール」へ。
道路通報や要望をダイレクトに反映。

「知らせる責任」を超え、「行動と合意形成」に責任を持つ。

Strategy 03: 交通はコストではない。「都市の骨格」への投資である。

OLD VIEW

赤字補填
(コスト)



NEW VIEW

未来への投資
(インベストメント)



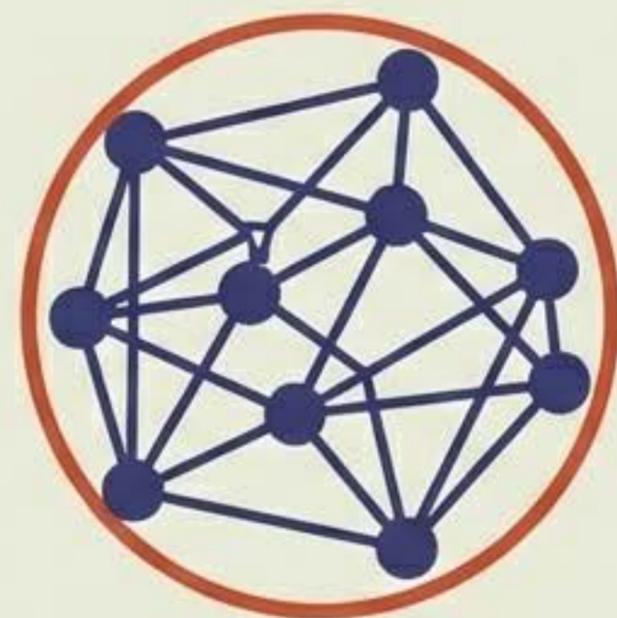
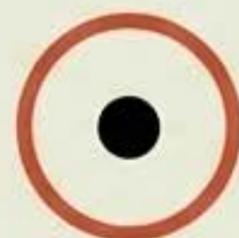
具体的アクション

- 5~10年先を見据えた中期交通投資計画の策定
- 医療・介護・教育へのアクセスを保障する「リ・デザイン」

「無くなってから」では遅い。維持するために投資する。

Strategy 04: 「点」の施設整備から、「面」のエリア戦略へ。

単体施設
(Point)



エリアマネジメント
(Area)

施設の建設・維持管理ではなく、
エリアの価値最大化を目指す。

手柄山・新アリーナ (Yamato Kogyo Arena)



「箱物」単体ではなく、
市民利用とプロスポーツの
バランスを考慮した稼働戦略。

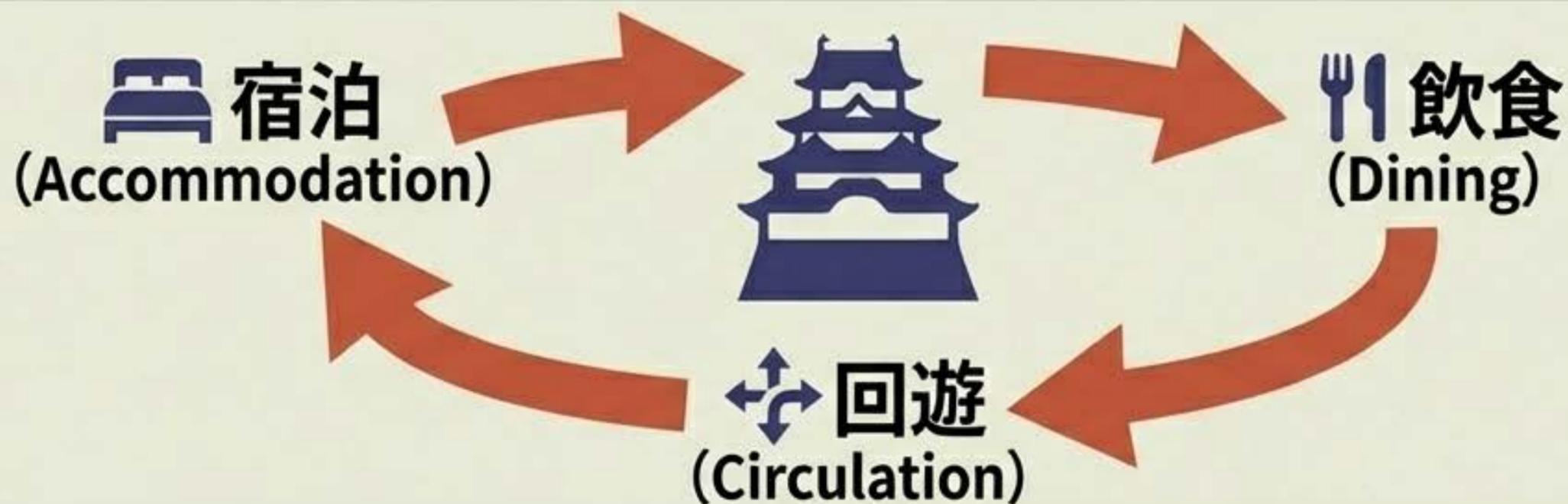
防災・避難所



「校区単位」の一律整備から、
人口動態と実情に即した
「福祉避難所」の重点配置へ。

「校区単位」の一律整備から、人口動態と実情に即した「福祉避難所」の重点配置へ。

Strategy 05: 観光を入込数だけで語らない。都市ブランドとしての「稼ぐ力」。



OLD KPI

入城者数・入場料収入
(コスト)

NEW KPI

【統合KPI】
市内滞在時間・観光消費額・再訪率

通過型観光 (Passing Through) ➡ 滞在型観光 (Staying)
姫路城という「キラーコンテンツ」を、地域経済循環のエンジンに変える。

Strategy 06: 学校という「場所」から、学びの「保証」へ。

ふるさと教育

学校統廃合を超え、
地域アイデンティティを
育む広域モデル。

インクルージョン

不登校特例校（学びの
多様化学校）の設置と
居場所の確保。

生涯学習

高齢者大学校を
「社会参画と健康寿命延伸」
の拠点として再定義。

建物がなくなっても、教育とコミュニティの機能は守り抜く。

Strategy 07: 複合課題に挑む。部局連携の「プラスα」。

Tech × Tourism

先進技術
(Drone/Auto-drive)



観光客の移動・体験向上として実装

Welfare × Industry

学校給食無償化



単なる家計支援ではなく、
食育・地産地消（農業振興）へ

Infrastructure × Strategy

道の駅（50億円投資）



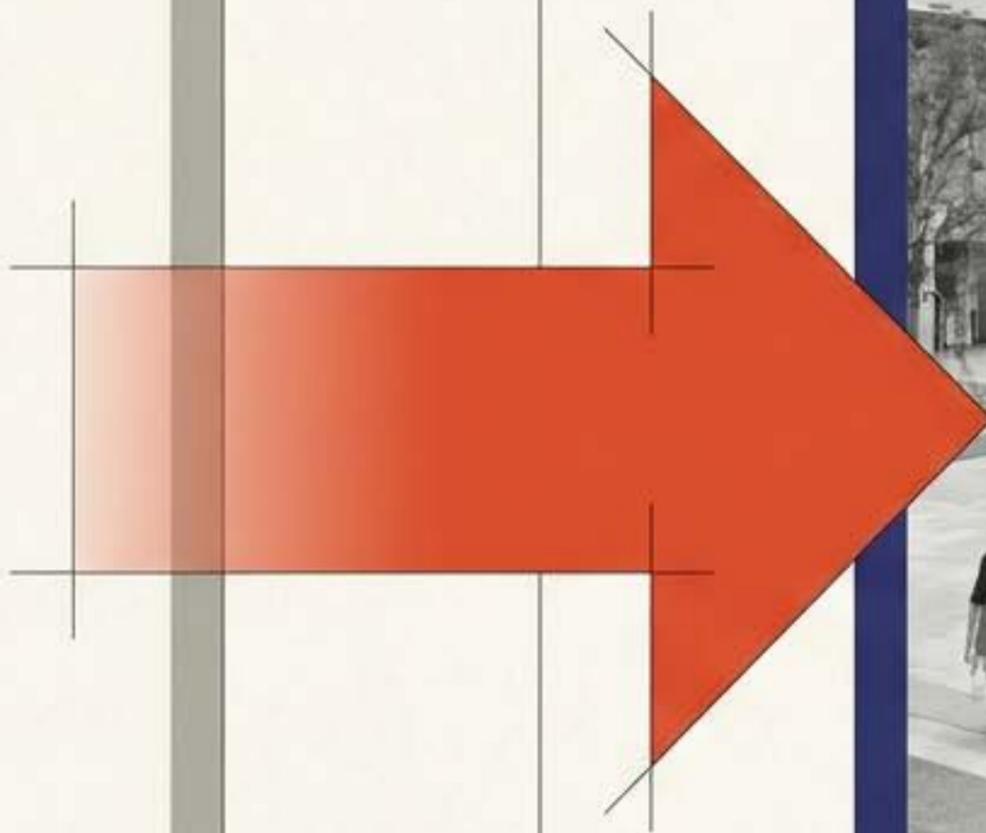
高速道路からの誘客と、姫路城への
送客ハブとしての厳格なROI

The Vision: 評価軸の転換。 費用対効果を超えた「ウェルビーイング」へ。



B/C
(費用対効果)

予算を消化したか？
施設を作ったか？

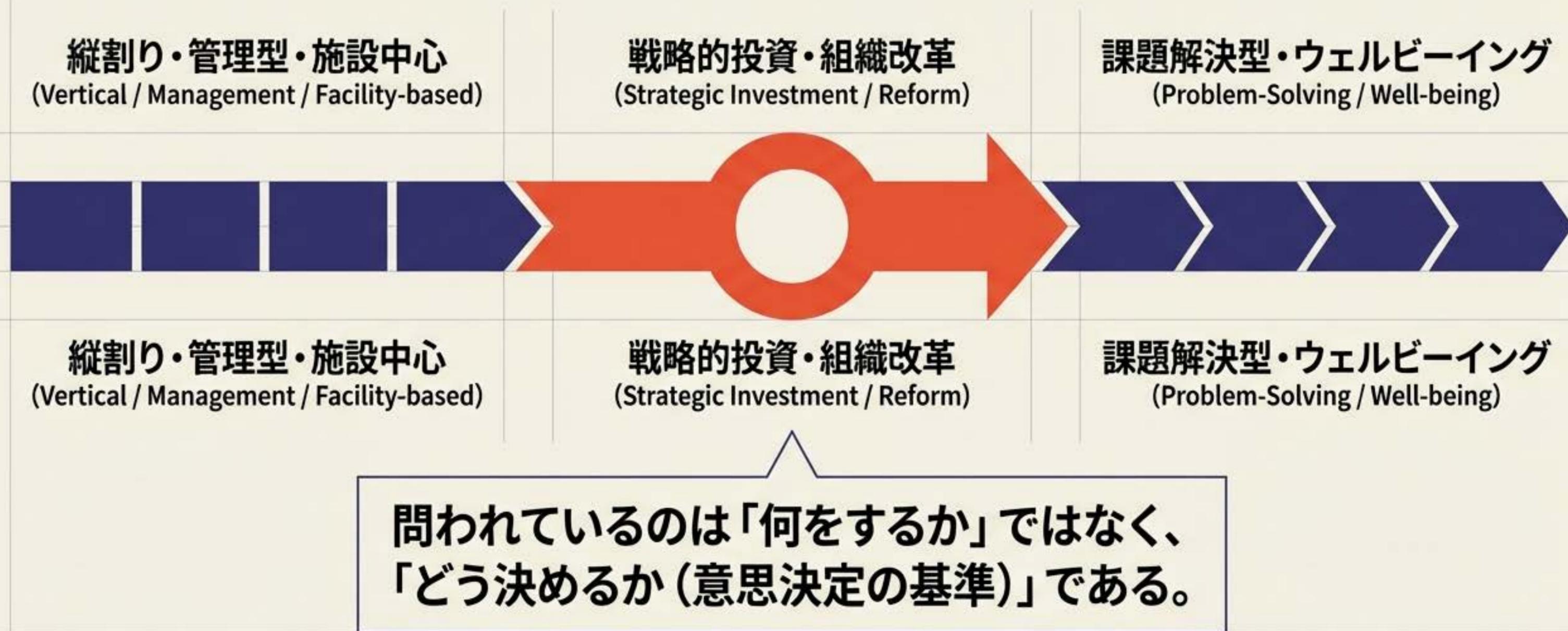


Well-being
(幸福度指標)

市民は幸せか？
つながりや安心はあるか？

予算編成と政策評価のプロセスに、ウェルビーイング指標を正式に組み込む。

Summary: 明日の礎を築く、勇気ある決断を。



姫路市の未来のために。

今日の勇気ある決断が、明日の礎になる。

Based on FY2026 Representative Questioning (Reform Independent Group) & Mayor's Policy Principles.